



荒川中  
だより

青い雲

村上市立荒川中学校  
平成29年度 第13号  
平成30年3月9日発行  
Tel 0254-62-3251



教育目標：「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

目指す学校像：「笑顔とハートのある学校」(ハート=熱いハート、温かいハート、柔らかいハート)



ご卒業おめでとうございます！  
荒川中で培った自信と誇りを胸に大きく羽ばたけ！

### 第71回 卒業証書授与式 式辞

例年になく厳しかった冬の寒さもゆるみ、木々の梢や大地から、新芽のふくらむ気配が、生き生きと感じられる今日の佳き日(中略)

ただ今、卒業証書を手にした88名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。3年間の中学校生活、そして、9年間の義務教育を終えた今、様々なことが懐かしく思い出されていることでしょうか。先日行われた三送会や「3年生ありがとう週間」の後輩たちの取り組む姿を見て、皆さんへの感謝の気持ちがいっぱい詰まった「温かいハート」を感じました。その姿を見て、私は、皆さんの存在の大きさを再確認しました。

思い返せば、今年度は、3年生が荒川中学校の要として、学校生活のあらゆる場面で活躍した年でした。3年生がリーダーシップを発揮して大成功を取めた体育祭。応援団長を中心にユーモアとパワーにあふれ、一致団結した応援は、観ている人たちに笑顔と感動を与えてくれました。また、パネルでは、年々技術が向上し、素晴らしいパネルが完成しました。描いたものが絵から飛び出してきたような、そんな立体感のある迫力満点のパネルでした。皆さんの生き生きとした笑顔がとても印象的で、思い出に残る素晴らしい体育祭でした。

暑さにも負けず、高い目標を掲げて全力でがんばった部活動、最後の夏の大会では、3年間の集大成として勝利を目指して必死に頑張る姿を見せてくれました。県大会・北信越大会・全国大会と例年になく活躍をしてくれました。

皆さんの活躍は、まだまだたくさんあります。青雲祭の合唱コンクールでの美しい歌声、1年経つごとに、難度が高くなる曲に挑戦し、1組は「命ある限り」、2組は「手紙～拝啓十五の君へ～」3組は「YELL」、難しい合唱を美しいハーモニーで見事に歌い上げた姿には、涙が出るほど感動的でした。

皆さんは、最上級生として学校の行事や生徒会・委員会活動、部活動で立派にリーダーシップを発揮し、荒川中学校の伝統を築いてきました。ほんとうに自慢できる熱いハート、温かいハートをもった素晴らしい3年生でした。1・2年生に「私たちもあんな3年生になりたい」という、あこがれと目標を与えてくれました。あなた方が学校をリードしていったように、これからは在校生の皆さんが、更に立派な荒川中学校の校風を引き継いでいってくれるものと確信しています。

皆さんの門出に当たり、私から最後のメッセージを送ります。

今まで全校朝会で「しあわせになるために大切にしてほしいこと」を伝えてきました。今回は「幸せのまとめ」のお話をします。「幸せ」を違う視点で分類すると三つの幸せに分けられます。

一つ目の幸せは、「してもらう幸せ」

赤ちゃんの時は、おなかがすけば泣き、おむつが濡れれば泣きました。すると家族が夜中であろうが一晩中でも、だっこしてあやしてくれました。15歳になった今でも、家族のおかげで当たり前のようにご飯を食べることができ、温かい布団で寝ることができます。温かいお風呂にも入れ、きれいさっぱりになれます。東日本大震災で家族を失い、家も流された女子中学生の言葉「昨日までの自分がどれだけしあわせだったか、今わかりました。」

「してもらう幸せ」は、このように当たり前のことと、なかなか普段は気づかないかもしれませんが、なくして初めて気づくのです。「してもらう幸せ」は、「人からいただく幸せ」という表現もできます。この世に生まれてきて15年間、人から親切にされる、優しさをもらう、誉めってもらう、お世話になるなど、たくさんの「幸せ」をいただいていたのではないのでしょうか。今日は卒業式、今までのたくさんの方々からいただいた「幸せ」に感謝しましょう。特に家族の方には、ここまで成長できたことに感謝の気持ちを伝えてください。

二つ目の幸せは、自分で「できる幸せ」

字が書けるようになった。一人で自転車に乗れるようになった。サッカーが上手くなった。何でも自分でできるようになると、偉くなった気がしてうれしいものです。これが「できる幸せ」です。この中学校三年間を通して、身体的にも精神的にも大きく成長し、小学生の時よりもたくさんの知識を得ると共に、運動の技能も大きく上達しました。これからも多くを学び、いろいろなことに挑戦し、自分の良さをみつけ、生まれてきた使命につなげるなど、たくさんの「できる幸せ」を味わってください。

そして最後、三つ目は、人に「してあげる幸せ」

誰かのために何かをしてあげる。相手の喜びを自分の喜びとする。そんな人は、周りの人から好かれ、頼りにもされます。「してあげる幸せ」は、三つの中でも「皆で共に幸せになろう」という最高の幸せではないかと思えます。周りの人を幸せにするために、労を惜しまない人であってほしいと思えます。それがひいては自分の幸せにつながるはずです。

卒業生の皆さん、これまで家族をはじめ多くの方に支えられ、「してもらう幸せ」、そして、「できる幸せ」を味わってきました。これからそれぞれ歩む道は違いますが、人に親切にし、感謝の気持ちを忘れず、いろいろなことに挑戦し、自分の可能性を伸ばしてください。そして、たくさんの「してあげる幸せ」を味わえるような人生を送ってほしいと思えます。誰かのために、誰かの幸せのために、多くの人を笑顔にしてあげることができるよう、皆さんの活躍と幸せを願っています。

最後になりましたが、保護者のみなさま、お子様のご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。立派に成長されたお子様の姿に、15年間の子育てを振り返ったとき、感慨もひとしおのことと拝察いたします。皆さまの大切なお子様を、3年間お預かりしてまいりました。ご期待に添えなかった点多々あったかと思いますが、お子様たちはたくましく成長し、今日の日を迎えることができました。これもひとえに保護者の皆さま方の、ご理解とご協力があったおかげと深く感謝しております。今後とも、信頼される学校づくりを目ざし、教職員一同努力して参りますので、これからも一層のご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

結びになりますが、卒業生一人一人のこれからの活躍と幸せを心からお祈りするとともに、今後は、荒川中学校やこの地域を支えてほしいという願いを加え、式辞といたします。



## 平成30年度 生徒会書記局員・専門委員長

### ○生徒会書記局員

〈1年生(4名)〉

山口 恭奈(1-1) 会田 弥瑚(1-2) 眞田 歩望(1-3) 志村 亜衣(1-3)

〈2年生(4名)〉

磯部 もも(2-1) 渡邊 哲(2-1) 本間 彩(2-3) 渡邊 陸斗(2-3)

○整備委員長・・・石井 幸太(2-1)

○広報委員長・・・松田 琉奈(2-1)

○放送委員長・・・上野 涼花(2-3)

○体育委員長・・・緒形 蓮来(2-1)

○応援委員長・・・羽田 雄翔(2-2)

○生活委員長・・・松本 菜々(2-1)

○図書委員長・・・風間 芹菜(2-1)

○福祉委員長・・・渡邊 萌花(2-2)

○保健・給食委員長・・・遠山 瞬(2-2)

## 祝 表 彰

【第3回 実用英語検定】〈1次試験1月19日(金) 2次試験2月18日(日)〉

◇準2級合格者 松本 菜々(2-1)

◇3級合格者 志村 亜衣(1-3) 佐藤 奈尚(2-3)

◇4級合格者 高橋みろく(1-2) 保科 美優(1-2) 山際まこと(1-2)

◇5級合格者 磯部 もも(2-1) 伊藤 翼(2-2) 須貝 咲希(2-2) 佐久間穂香(2-3)

◇5級合格者 山崎 翔太(1-1) 板垣 明笑(1-2) 徳富 優果(1-2) 遠山 愛実(1-3)